

同じく實驗を要する物理化學の教室器械等はどんぐり整備さるゝにもかゝらず家事科に屬するものは何年たつても依然たるは要するに家事科教授の任にあたるものゝつみといはなければなりません。

私どもが奉職して其學校にある器械を巧に使用するは勿論こんなものを教へたいと思つてもない場合には自分の家からもつて來なければなりません、それほど熱心にしたならば遂には人々の同情もえて理想通り整備するのでせう。

以上断片的で順序も何もたぢません事を申しましたが要するに階段教室を設けて後に實習せしむるといふ事に歸着するので御座いますこの圖につきましてはあとでに腹藏なく御批評下さいませ様にねがひます。

### 農家の日常生活につきて

四年 笠井 静江

私は農家の日常生活の有様につきまして御話致したいと存じますが何分私は田舎の様子をよく存じませんので御座いますから只皆様からうかひました事などを集めて農家の生活状態を申し上げなほ一寸自分の考をもつけ加へて申上げやうと存じます。

扱住居と申しましても大概は萱葺では御座いまして入口を關座敷など、整然とした區別はなく入口から入りますとすぐその横に便所がありまして續いて土間が御座います部屋は茶の間と寢間位のものでは御座いましてその茶の間には大抵爐の設けがありましてそこでお湯を沸かしたり煮物などを致しますそれに續いて臺所が附屬して居ります窓は比較的少う御座いますから大變に薄暗くてその上お掃除なども毎日致しませんから何となく湿つぽいやな感じが致します。

食物と申しましても極粗末なもので御座いまして御飯などは玄米を一寸臼でついたものか又は粟稗などをたべて居ります處によりましては薩摩芋を常食としてゐる處さへもあるさうで御座います又毎朝味噌汁をいたしますがそれにも鯉節などは決して入れませず田畑へもつて行くお辨當は焼餅に味噌をつめたものでありまして少しよいので御飯に梅干澤庵漬か味噌漬位のもので御座います一家團欒の夕食でさへもお芋や豆の煮附でこれを煮附けますにも砂糖や醬油などは減多に用ひませす多く鹽煮か味噌煮で御座います殆ど一年中野菜ばかりいたいて居るので御座います然してお祭りの日などにはまれに鯉とか鹽から鰯又は鮭のやうな類をいただきます元より土地によりまして違ひませうけれども只今申上げましたるは北の方の海岸から五六里離れた處の状態で御座います。

又お八つなどお芋豆生瓜茄子果物を田畑に出來たものをたべますが家の近いものならばまづ



椽にでも腰かけますけれども多くは木蔭の草の上によごれた足を投げ出していただきます果物や瓜などは皮もとらずにたべるいふ有様で實に簡単な状態で御座います。

従つて衣服なども極粗末でありまして仕事に出かけますときには男女とも仕事着といひまして筒袖の盲目縞の如きものに股引脚絆を身につけ鞋をはいて手拭か笠などをかぶつて無邪氣な歌を歌ひながら馬をつれて出掛けてまゐります。

斯様な有様で御座いますから夫等の家庭で育ちました子女は申すまでもなく放任的できちんとしてまゐるべき學校などへさへも三尺又は細帯で袴をはいてまゐりますものはまあめで御座います時々女の兒が長い袖の着物をきてくる事がありますがしかし袖附はほころびて居ります胸のあたりはひかつてゐる様な有様で御座いますその外履物なども家で作りました藁草裏か藁の鼻緒のすがつてゐる下駄をはいてまゐります雨の降つた時は座に笠で肌足で走つてまゐりますから都會では入口に靴こすりを置きます代りに農村の學校では盥に水の用意が必要で御座います髪も小さい兒供は毎朝結ばす多くはぼう／＼させてまゐります、しかし女の子は時々櫛をいれますからまだよろしう御座いますけれども男の子は何日たつても洗ふといふ事がありませんから何となく日向臭くてその上色々の皮膚病に犯されてゐるものが澤山なので御座います。

以上は農家の日常生活の極大体を申し上げましたので御座いますが考えて見ますのにかゝる状態は

或は事情やむを得ない點も御座いませうけれども一般的に評しますと家庭内は秩序なく清潔整頓を缺いて居ります事はたしかでありまして要するに是等一家の主婦が行きとどかず氣がきかぬといふ事は事實でありますさう致しますと家事科と離るべからざる關係をもつて居ります私共は中流或は上流の家事について研究致しますのみならず却つてかゝる農家の方面に向つて研究するが必要だらうと思ひます。

おはなしはたちもどりますが例へば士間の如きは田畑の獲物を積んで置きましたりお米もつけば草鞋もつくるといふ即豊家一切の仕事をするところでありますから今迄のやうに一棟の中にあつて部屋とついでをりましては勢ちらかり易く従つて不潔になり易いので御座いますから別棟にした方がよいとおもひます殊に馬小屋などはせひとも別棟にしたいので御座いますでなくば蠅だの臭氣などが家の中に入りまして衛生の上からも甚だよろしくない事だと思ひます。

また便所に至つては其の位置といひ形式といひ大に考へなければならぬ事でありましてにかく入口でなくつて目立たぬ處に設けて体裁も今少しつくりたいものであります。

かやうにいたしました後の寢間茶の間はそのまゝに保存し相當の玄關を設ける方がよからうとおもひます最もこの玄關といひましても私共の家の様な玄關をいふのではなくそれは今迄農家に玄關のありませんのは徳川氏の初めに庶民は玄關を作るを要せずといふお布令がありましてそれか



ら今日に繼續いたしましたのであるそうで御座います。

なほ住居の根本について考へて見ますれば土地の撰擇方位採光通氣などに關して一般住宅と同様の注意は必要で御座いますけれども餘り繁雜になりますからこれらは省きます。

食物もかの生茄子や生瓜をそのまま食すといふことは衛生上よくない事で御座います故せひともやめさせたいもので御座いますしかしお砂糖や鯉節を使用せしめる事が全く疑問で却つてこれによつて奢侈といふ事を教へ經濟上にも影響を及ぼすやうな事にはなるまいかとおもひます。

然し衰ほしなどは價もやすく且つ味もよいもので御座いますからこれを用ひて相當に食物の味を増す事を計るのは結構で御座います然しなほそれよりも例の呑氣な性質は糞物の上にもあらはれて何日までもいつまでも養て所謂糞腐らすといふ様な事が御座いますがそれらはよく注意し且なるべく其土地の生産物でうまひ調理の方法をすゝめ他の地方からわざわざ取りよせてするといふ事はさげたいと存じます。

衣服につきましては勞働に適する丈夫なのでなければなりません故にこれ迄は手織木綿でございましてけれども文明の進歩につれて機械で織つてこれにかはる丈夫なものが出來ますから經濟及び勞力の點から考へましてもこれを用ふる方がかへつて得策であらうと存じます。

一般農民といふものは自然を相手の職業で御座いますから概して呑氣になり易いものでことに下

層のものになりましたは自分の職業に對しての自覺心などはなく只先祖の職業をついでこれの子孫にそのまゝゆづるといふわけで別に趣味などといふものを以てこれにたづさはつてゐる者は少なからうと存じます然し文明の進歩に伴つて一般人智の發達いたします今日ではこれら農民の教育といふものは決して忽がせに出來ないので御座いますそれで私共は卒業後直接農村の子女を教育しないにしても師範や高等女學校を卒業なしますものは或は農村の子女を教育致す事になるかもしれません於茲師範や高等女學校を卒業なします生徒を教へる私共の立場としては彼等に農業の重んずべき事を充分に自覺せしむる事が必要で御座います。

然るに今日農村の學校教育は誠に農村的でなく教師は都の中流以上の生活の理想を以て生徒に向ふ結果彼等は徒らに都の華美を夢み従つてさびしい眞面目な農村生活に倦きてその結果が遂に都にとび出したくなるので御座います。

我國は昔から瑞穂の國と稱せられて農業は國民元氣の中堅でありますさればかゝる農民の増えにくるといふ事は誠に患ふべき事であらうと思ひます考へて見ますにかく都會に集つてくるのは色々な原因も御座いまいやうがその主なるものはつまり其の生活の單調即社交的慾望の缺乏といふものによるので御座いまいやう。

人は社交的動物で御座います此の社交性を満足させますのに最も都合のよいものは勿論都會生活



と申さねばなりません交通が不便で移住が困難なる時代ならばとにかく今日の如く交通便利な時代となつては人々が田舎を捨て、都會生活に移らうとするのは自然の勢と申さねばなりませんしかしこゝに確固たる信念のあるわけでなく只田舎がいやだといふ位で都會に出やうとする傾向に對してはどうしても防がねばならぬと思ひます扱その方法としては一面には農村の長所を認めしめて之に對する趣味の養成に努力すること、又他の一面には社交的慾望に満足を與へる機關の設備をなしまして田舎にありがちの孤獨的なさびしさを味はしめぬ様にすることが必要だらうと存じます。

農村は其改良を計りますには小學校の先生方の盡力による事が最も都合がよいと思ひます尙卒業生を集めた青年團體組織が望ましいので御座いますそして教師は是等青年團體を主催者として農業技師とか或は農事に明るい人を招いて講話をきむだり又は講習を開いたり時には他の模範村をば實地視察させて彼の長を採り短を補ふやうに致したいもので御座います。又農産物品評會のやうなものを開きまして各自もちよりの野菜果物を陳列して公衆に示し之を品評して貰ひますのも随分有益であらうと思ひます。

又模範的人物を出した村などはよく其の人の遺物をかゝる團體で大切に保存致しまして紀念日や祭日などに一般人に見せて偉人の遺風に感化せしめるやうな事は是亦教育上大切な事で御座いま

す是は故人のみならず現在の人でも立派な人名な人は卒業式とか懇話會とかに聘して直接その話を聞きますのは猶一層の感化を受くる事が多からうかと思ひます。

尙圖書館のやうなものを設けますのも必要で御座います之は別段に建物を要するわけでもなく豪農の一室を借りてもよく學校の一部を之にあて、もよろしう御座います現に巡回圖書館といふのが諸所にあるさうで御座いますがこれなどは至極よい事と存じますしかしこれを設けたばかりでは何の役にも立ちませんからまづ豪農とか僧侶教師などが先に讀んで面白く懇話會などの席上ではなしてきかせて人々に讀まうといふ氣を起さしめる様に導きたいもので御座います。

扱最後に娛樂について一言申上ります歐米では一週一度の安息日には皆業務をやめまして信仰的休業を致しますさうですが日本には一向さういふ事なく只勤め働くのみで御座いますかの鎮守の祭りには若者が笛太鼓神樂舞の稽古にお祭り前に多くの時間を費すのを見ましてもいかに村の人々が此の祭りを待ち設けて居るか、わかりますその外盆祭りしめり祭三大節田植の終り收穫の終り歳神祭などは皆一般農村に行はれてをります共同的娛樂で御座います是等従來の娛樂は多く保存致しまして益々發展を計り尙進んで適當の方法を以て農休みなどには空しく午睡雜談に費やさしめないやうに致したいもので御座います。

斯様に色々申上げましたが一体ものにはらしいといふ事が必要で御座いますすれば常に農家らしく



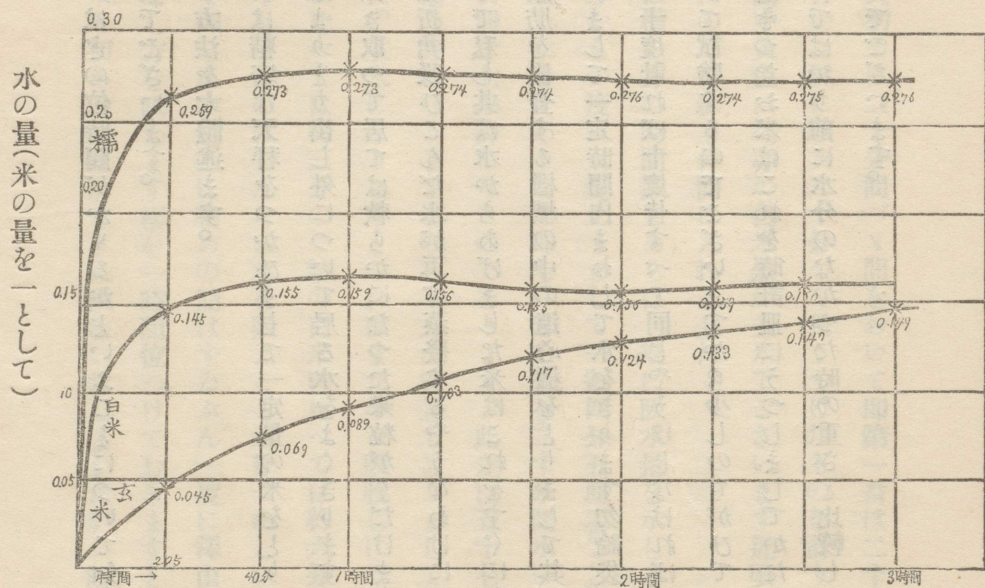
といふ事を考へて改良進歩を計り孜孜汲々として仕事を勵む農民の家庭をして唯一の慰安所とし又精力培養の場所と致したので御座いますかくて一般農民の智識の向上感情の圓滿をはかり土地の空氣に安住させ以て國家の富強を増す事を勉めたいので御座います。

### 米粒の水を吸収する速さ

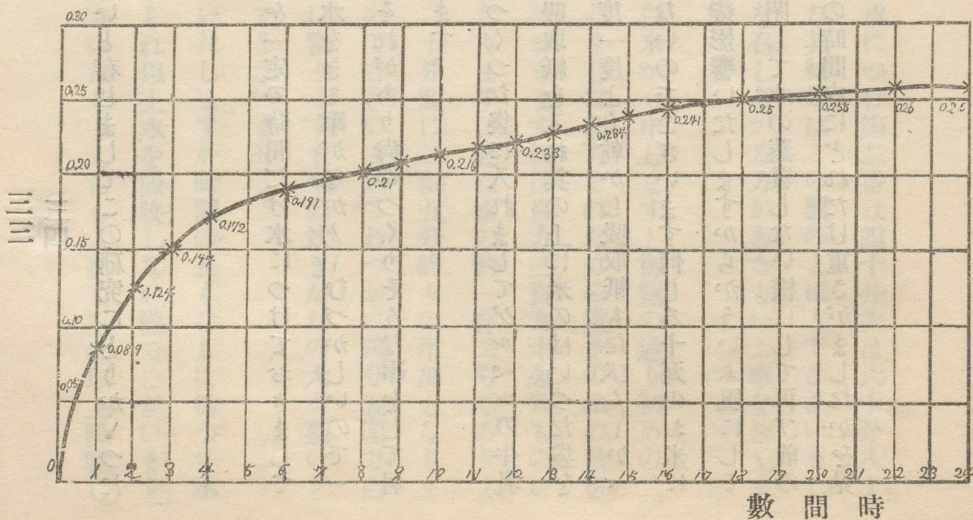
何れの地方にまゐりましても御飯を炊ぎます前には一定の時間だけ水につけておく様にきいて居ります其れにはいろいろ理由もございませうが主なる理由は御飯をよくたく即ちやはらかく炊かうといふのに外ならないのだと存じます洗つたお米を其まゝ炊かないで水の中につけておけば米粒が水を吸ひましてやはらかくなりますから火が通り上等の御飯が出来ることは皆様すでに御承知の事でございます。

然らばつけておく時間ほどの位かと申ますとこれは地方によりて異なるやうにきゝました、或地方では數時間長いのは一晩つけるといふのもありますこれはまぢくできましませんから私共は一體どの位の間にしておけば充分であるか即ち米粒がこれ以上水を吸ふことが出来ないといふま

糯、白米及玄米ノ水ヲ吸収スル速度



玄米ノ水ヲ吸収スル速度



三年 近藤 あや  
平田 愛子  
田中 せつ